



## 週報 第3012回

会長 藤野 修次 副会長 藤原 重行  
幹事 寺田 敏也 SAA 泉谷 仁博

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津  
TEL 0725-20-1121  
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30



泉大津ロータリークラブ  
**Izumitsu Rotary Club**

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501  
メールアドレス izumitsu-rc@ioctv.zaq.ne.jp  
ホームページ http://izumitsu-rc.org



### 今週の例会 (2018年12月22日)

#### ■ プログラム

忘年クリスマス例会

#### ■ 次週のプログラム

- ・12月28日:定款の規定により 例会休会
- ・1月4日:定款の規定により例会休会

#### ■ 今後の予定

- ・1月11日:新年会長挨拶

#### ■ 祝 誕生日

原 真理子 (25日)

#### ■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

#### 今月の歌

##### 聖夜

きよしこの夜	星はひかり
すくいの御子は	御母の胸に
眠りたもう	夢やすく

#### ■ 先週の例会

##### 会長の時間

今年も例年通り、2018年の世相を表す「今年の漢字」の発表が有りました。今年は「災」が選ばれ、12日に清水寺で森清範貫主より揮毫されました。平成最後の一字となる「災」は、6月の大阪北部地震や7月の西日本豪雨



藤野 修次 会長

それに9月の台風21号・北海道地震などの自然災害があいついだ事が主な理由になったそうです。森貫主は来年は災害のない年になるように祈願したそうです。

今日は、「カニカマ」のお話をさせていただきます。「カニカマ」は色や形・食感をカニに似せたかまぼこです。1970年ころに中国からのクラゲの輸出が止まったことがきっかけに、石川県七尾市の水産加工メーカーが人工クラゲ風味の食品作りに取りかかりました。昆布から取れるアルギン酸を使って人工クラゲを作ろうと試作したところ、醤油につけると軟らかくなってしまいました。しかし、この試作品はカニの肉をバラバラにした時と似ていたことから、これをヒントにカニ風味食品の開発に取りくみました。ちょうどその頃、カニフレーバー(カニの味をした香料)が開発され、刻んだかまぼこを結着する技術も開発されていました。そして、70年前半にはカニ風味かまぼこの商品化に成功、こうして「カニカマ」が誕生しました。現在の主流は広島市のかまぼこメーカーが開発したスティックタイプのもので主流です。

「カニカマ」の輸出は1970年代後半からアメリカの日系人や駐在日本人向けに輸出・販売されていましたが、その後、アラスカでのカニ漁獲が禁止になったことから、その代用品としてサラダのトッピングにカニカマが使われるようになりました。それから急激に広

## IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3012回

まり、日本からの輸出も急増しましたが、1985年の円高を契機に日本からの輸出が急激に落ち込みました。それに代わって韓国や東南アジアでの生産が急増し、又、アメリカ国内でもカニカマ工場が目白押しに稼働するようになりました。欧州でもカニカマ工場が林立し、特にフランスではsurimi(スリミ)と呼ばれて人気です。さらに、2000年ころに起こった狂牛病などの影響で肉の消費が減少したこともあり、カニカマの消費は拡大していきました。この他にも世界で愛される理由は、水産物を消費する食習慣や嗜好の存在、高級なカニ肉にそっくりな親近感、機械での生産、原料の調達し易さがあります。

現在、世界で約50万トンのカニカマが消費されています。そのうち日本では5万トンが消費されているそうです。

#### ■ 幹事報告 寺田 敏也 幹事

○メールボックスに、会員候補被推薦者氏名(楠本 竜也さん)を入れておりますので、異議のある方は幹事までご提出お願い致します。

#### ■ 委員会報告

忘年クリスマス例会  
12月22日(土)ホテルレイクアルスターアルザ  
午後5時30分より登録受付、6時開会です  
(松村 泰英 親睦活動委員長)

#### ■ 祝 誕生日

中 透 (16日)  
八木 秀富 (19日)



#### ■ ビジター なし

#### ■ 出席報告 会員数42名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
12/14	32名	10名	—	76.19%
11/30	32名	10名	6名	90.48%

#### ■ メークアップ

- 榎本 (12/14 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
- 前山 (11/16 親睦活動委員会)
- 南出 (11/22 和泉南RC)
- 瀧谷、寺田 (12/7 理事役員会)
- 丹農 (12/6 和泉南RC)

#### ■ ニコニコ箱

- ・仲井所長様、赤堀様、本日来会して頂きありがとうございます(藤野)
- ・仲井所長様、本日の卓話よろしくお願い致します(寺田)
- ・仲井所長様、本日卓話宜しくお願い致します(泉谷)
- ・大阪府赤十字血液センター南大阪事業所 所長 仲井照洋様、事業課 赤堀昌之様、本日お忙しい中、Well Come、サンキュー (渡辺)
- ・仲井様、赤堀様、本日の卓話よろしくお願い致します(山本(博))
- ・欠席のお詫び。仲井様、よろしくお願い致します(高寺)
- ・欠席のお詫び (丹農)
- ・欠席のお詫び (西野)
- ・早退のお詫び (瀧谷)

ニコニコ箱合計	17,000円
累計	453,000円

### 先週のプログラム 「いのちの贈り物」



卓話講師  
大阪府赤十字血液センター  
南大阪事業所  
所長 仲井 照洋 様

臓器移植(輸血も含む)は、臓器(血液も含む)を提供くださる方があって初めて成り立つ医療です。臓器の提供には、生きていらっしゃる方からの提供と亡くなった後に提供される場合があります。

生体間で行われる移植には、腎臓、肝臓、肺があります。生体からの提供者は、日本では親族に限られており、この臓器提供は、個人と個人の問題として考えられています。そこでここでは、亡くなった後の提供について考えてみましょう。亡くなった後、提供される臓器は「いのちの贈り物」と呼ばれています。この行為は、名前を明らかにすることもなく、お金や物など全く見返りを求めない行いとして、究極のボランティアと言われてます。アメリカでは、人々は臓器提供者をヒーローと呼び、その行為を讃えます。勿論その家族(ドナーファミリー)も尊い決断をした人たちとして讃えられます。

人は、一人では生きていきません。お互いに支え合って生きています。その支える相手が互いに見え合っているわけではありません。全く知らない人や全く意識もしていない人同士が、互いに支え合っているだけで生きていくのです。

一般のボランティアは、対象ははっきりしている場合が多く、感謝や成果を目に見える形で知ることが出来ます。そのことがボランティアを継続して行おう力になっていることも多いと思います。

しかし臓器提供は、見返りもなければ、結果も知ることができません。このようなことを理解し「いのちの贈り物」される方々は、本当に素晴らしい方々ですが、そのご家族も尊敬に値する素晴らしい方々です。家族の死を目の前にし、ご本人に代わって決断をされるご家族の心情を察しますと、言葉では言い表すことが出来ません。